

今月の 看板ムスメ

文/高野 由絵(本誌)
写真/松田 昌樹(本誌)

喜多流大島能楽堂の能楽講師
園尾 文恵さん(33)
(舞台名・大島文恵)

福山で五代に渡って続く能楽家・大島家の一人、文恵さん。152センチと小柄な彼女は、黒々とした瞳が印象的で、凛々としたオーラを放つ。ザ・日本美人だ。けれど、舞台にあがると雰囲気は一変。華奢な体からは想像がつかない大きな謡い声、質実剛健で男性的な喜多流の能を舞う姿は、武士のよう

に格好いい。「尊敬する能楽師の父や兄を支えてゆきたい」と語る彼女。子どもには紙芝居を使ってストーリーの説明をし、舞いたいけど体がついてこない大人には、ゴルフの動きに例えて、能の面白さを教えてくれる。そんな風に日々能を教える文恵さんは「最近では控えてますが、ワインが好きです」。結構イケる方と見た。女も惚れる熱き。信念を持ったジャパニーズピュアティーと、ぜひグラスを交わしてみたいものです♥

Q1. 能楽への心構え

初心 忘るべからず (世阿弥)

Q2. 好きな言葉

名珠 掌に有り (大切の物は自分の内に
あると意識)

Q3. よく行くお店

りめくし、メゾン・ドゥ・シェフ

Q4. お休みの日の至福の過ごし方

晴れた日、主人や友達とゴルフに行くこと。

女も惚れる、能楽界のジャパニーズピュアティー。



喜多流大島能楽堂

定期公演のほか、能楽の出張講座や体験学習も行う大島家。1/3(月)は沼名前神社で新春能楽祭も開催。



福山市光南町2-2-2
☎084-923-2633
Pあり



もっと知りたい♥
動く看板ムスメ

Wink TV

<http://wink-jaken.com>

看板ムスメの
愛するもの



官女扇と、
祖父が遺した
檜舞台

女性を演じる際に使う貴重な扇。全国的にも珍しい、個人所有の本格的な能舞台は、祖父が遺した大切な場所。